

**製品名: MIXL1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13922**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MIXL1 MIXL
別名	
遺伝子 ID	83881.0
SwissProt ID	Q9H2W2
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 90-170

**背景**

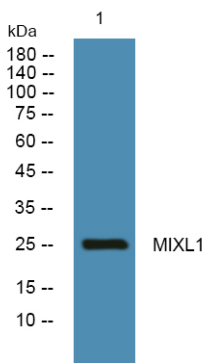
ミックスペア様ホメオボックス (MIXL1) MIXL1 などのホモサピエンスホメオドメインタンパク質は、発生過程における細胞運命を制御する転写因子である (Hart et al., 2005 [PubMed 15982639])。[OMIM 提供、2008 年 3 月] 機能: 中内胚葉の適切な形態形成お

よび内胚葉形成において中心的な役割を果たす転写因子。原条段階から血液細胞への効率的な分化に必要であり、中胚葉前駆細胞の血管芽細胞系および造血系へのリクルートメントおよび / または増殖の初期段階に作用する。また、胚発生期における心臓および腸の形態形成にも関与する。ブラキュリ発現の負の調節因子として作用する。、PTM: 複数の部位でリン酸化されている。、類似性: ペアードホメオボックスファミリーに属する。、類似性: ホメオボックス DNA 結合ドメインを 1 つ含む。、組織特異性: 前駆細胞および二次リンパ組織に限定される。通常の造血においては、未熟な B リンパ球および T リンパ球に限定される。分化中の胚性幹細胞に存在する (タンパク質レベル) 。、

## 研究分野

-

## 画像データ



PC12 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、MIXL1 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩